

中学校 第2学年 学級活動(2) 指導案

1 題材名 「学校給食における実態から、食生活を見直そう」
(イ(ウ)学校給食と望ましい食習慣の形成)

2 題材設定の理由

中学生の食事は、欠食や不規則な食生活による栄養バランスの偏りなど多くの問題を抱えている。そこで、『食と健康』『食を楽しむ』という意識を高めるには、『生きた教材』である学校給食において、実践を進めていくことが重要であると考え。自らの健康だけでなく自分と集団との関わりの中で学校給食時の問題点に気づき、自ら改善できる力を育てたい。

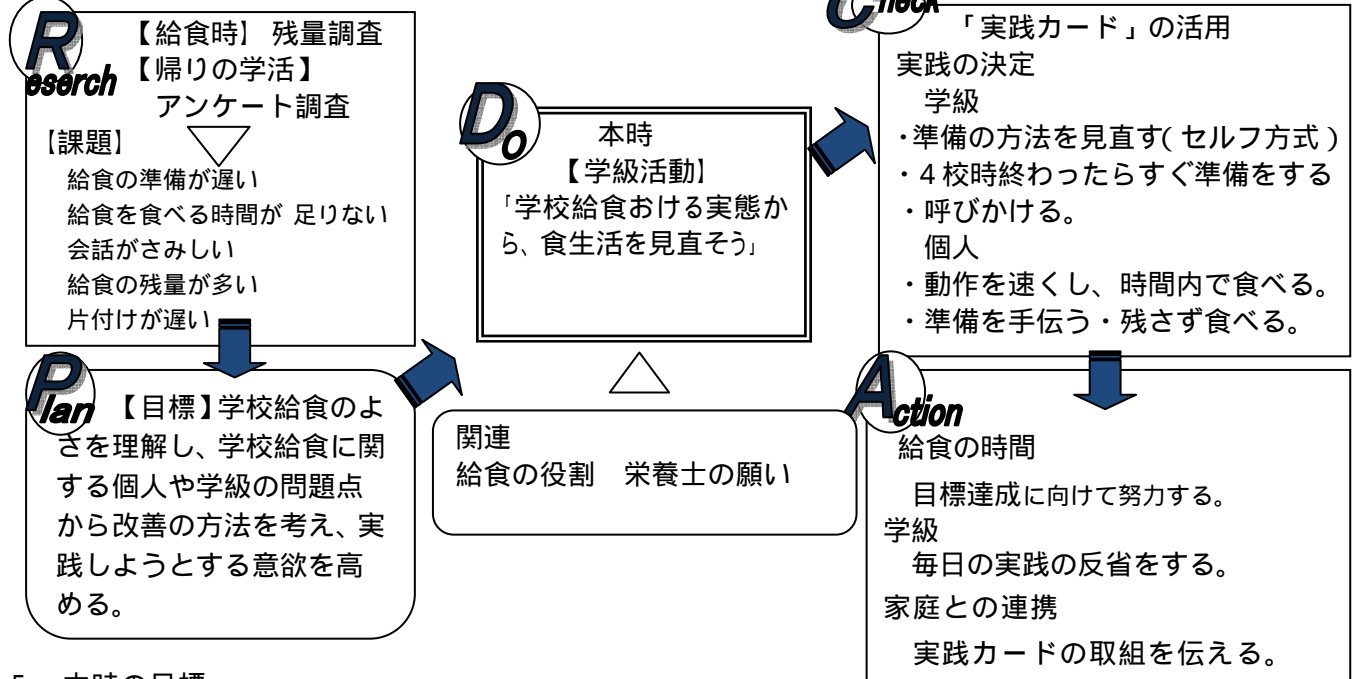
本学級は、8割の生徒が給食を楽しみにし、男子においては、ほとんどの生徒が残さず食べている。一方、4割の女子は残し、1食分の摂取量を満たしていないという問題点があげられる。他には、給食の準備に時間がかかり、食べる時間が少ないことや給食時の雰囲気も検討を必要とする。

指導にあたっては、給食の意義を再確認させ、自分の給食摂取量や学級で食べる時の自分の様子を振り返らせ、1食分の大切さや心の持ち方など実践可能な方法を考えさせたい。集団から個人へ、学級全体で実践していこうとする意欲を高めさせたい。

3 「食べる力」との関連

指導内容	期待する姿
一緒に楽しく食べる 食事作りや準備にかかわる	自分と集団との関わりの中で学校給食時の問題点に気づき、実践可能な方法を考え、意識して取り組むことができる。
食生活や健康に主体的にかかわる	学校給食から自分の食生活を見直し、望ましい食習慣を身につけようと努力することができる。

4 実施計画



5 本時の目標

学校給食のよさを理解し、学校給食に関する個人や学級の問題点から改善の方法を考え、実践しようとする態度を育てる。

給食時の問題点がわかり、実践可能な方法を考え、話し合うことができる。

給食時に実践する具体的な方法をまとめることができる。

6 展開

段階	学習活動・内容	時間・形態	指導上の留意点	資料
課題の意識化	<p>1 本時の課題を把握する。 給食のよさ 学級の給食の残量 食品の好き嫌い 1食分の摂取量 給食の準備時間・雰囲気</p> <p>学校給食に関する個人や学級の問題点から改善の方法を考え、実践しよう</p>	5分 一斉	<p>給食の楽しさや良さを聞き、給食への意識を高める。 東部給食センターの学校栄養職員から給食の意義について話をさせていただき、給食の役割を再度確認させる。</p> <p>1週間の給食の残量、給食に関するアンケートの結果から課題意識を持たせ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食に関する資料 1週間の給食残量の写真 給食アンケートの結果
課題の追求	<p>2 給食に関する自分や学級の問題点をあげる。</p> <p>問題点 給食の準備の遅れ 食事の楽しい会話 会食の時間の不足 給食の残量の多さ 給食の片付けの遅れ</p> <p>3 実践可能な方法を話し合い、発表する。</p> <p>学級での実践 個人の実践</p>	10分 一斉 25分 小集団	<p>自分の給食摂取量や学級で食べる時の自分の様子を振り返らせる。</p> <p>自分にあてはまる問題点ごとに班編成を行う。 個人攻撃にならないように学級全体の問題として捉えさせる。</p> <p>自分で実践できること、学級で実践していかなければならないことに分けさせる。</p> <p>給食時の問題点がわかり、実践可能な方法を考え話し合うことができたか。(発表)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 班による話し合い 学級会の形態 カード
課題解決	<p>4 各自が実践することをカードに記入し、発表する。</p> <p>5 学級で実践することを確認する。</p>	10分 個別 一斉	<p>給食時に実践する具体的な方法をまとめることができたか。(実践カード)</p> <p>学級に掲示し、意識化を図ることを知らせる。</p> <p>集団から個人へと実践が進められるように支援する。</p>	

7 評価規準

学校給食の意義を理解し、自分の給食摂取量や学級で食べる時の自分の様子を振り返り、具体的な方法を実践しようとしている。(関心・意欲・態度)
学校給食時の問題点がわかり、実践可能な方法を考え判断している。(思考・判断)

給食時に実践する具体的な方法をまとめ、実践できる。
 学校給食の意義がわかり、自分の実践方法を理解している。

(技能・表現)
 (知識・理解)

8 参考

- 給食センターからの資料やパンフレット
- ・学校給食における生徒への思いや願い
 - ・給食センターの設備等を考慮し、栄養バランスを考えた献立の作成
 - ・1食分の価格

9 板書計画

学校給食の個人や学級の問題点から改善方法を考え、実践しよう		学級 個人で実践		
学校給食の良い点	現状の グラフ	給食の準備	食べる時間	片付け
・栄養バランス ・適切な摂取量 ・同じ献立・低価格		1班 原因と改善点	3班 原因と改善点	5班 原因と改善点
栄養士さんの願い	現状の グラフ	2班 原因と改善点	会話	給食の残量
残さず食べてほしい			4班 原因と改善点	6班 原因と改善点

10 授業の実際

学習活動・内容	教師の働きかけ	生徒の反応
1 本時の課題を把握する。	<p>学校給食の意義について、学校栄養職員から献立や価格、みなさんへの願いや思いについてお話していただきましたので聞いてください。</p> <p>< 共同調理場栄養士からのメッセージ ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食は、健康を考え栄養バランスや1食分の摂取量が整っている。1食300円。成長期の生徒には残さず食べて健康な体を作って欲しい。 <p>給食の残量やアンケートの結果については、写真やグラフの通りになりました。(11事前事後の様子より)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1食300円こんなに安いと思わなかった。 ・野菜の残量が少ないけど、思ったよりご飯が多い。 ・給食の準備が遅い。

<p>2 給食に関する自分や学級の問題点をあげる。</p>	<p>残量やアンケートの結果からいろいろな問題点があることがわかりました。それでは、自分自身が一番気になっている給食時の問題点は何ですか。</p> <div data-bbox="437 338 970 674" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学級・個人における問題点 給食の準備が遅い。 早く！ 給食を食べる時間が短い。 15分を確保！ 給食中の会話がさみしい。 楽しい会話！ 給食の残量が多い。 残さない工夫！ 牛乳パックのリサイクルや片づけが遅い。 丁寧に早く！</p> </div> <p>集団で生活していくには、自分だけで解決できないことも多く、意識しなければならないことがたくさんあるね。</p>	<p>給食の準備が遅いので食べる時間が短くなってしまい、いつも残してしまう。牛乳パックのリサイクルの方法が雑になっていて、当番に迷惑をかけている。</p>												
<p>3 実践可能な方法を話し合い発表する。</p>	<p>それでは、給食時の問題点ごとにグループを作り積極的に話し合っ、課題を解決しましょう。原因を明らかにしてから、実践可能な方法を検討・記入し、各自が実践すべきことは、学級で実践しなければならないことには を付けましょう。</p> <p>では、各班ごとに発表してください。質問や意見がありますか。班の問題点における実践方法をみなさんで確認しました。学級の集団や各自が実践することが明確になりましたね。</p>													
<p>4 各自が実践することをカードに記入し、発表する。 5 学級で実践することを確認する。</p>	<p>それでは、給食時に一番意識して取り組む具体的な自己目標を実践カードに記入しましょう。各自の実践目標が決まりました。これから、意識し5日間頑張ります。家庭でもできることを実践していきましょう。</p>	<div data-bbox="767 1120 1369 1832" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>実践可能な方法</p> <table border="1"> <tr> <td>準備</td> <td>セルフサービスの方法にする。当番を忘れている人に呼びかける仕事を手伝う。</td> </tr> <tr> <td>時間</td> <td>4校時終了後すぐ準備をする。</td> </tr> <tr> <td>確保</td> <td>食べる動きを速くする。</td> </tr> <tr> <td>会話</td> <td>給食の献立や授業のことなど楽しい話題を積極的に話す。</td> </tr> <tr> <td>残量</td> <td>嫌いでも意識して残さず食べる。盛りつけの時に少量減らす。</td> </tr> <tr> <td>片付け</td> <td>挨拶後、食べ終わった人からすばやく丁寧に片づける。</td> </tr> </table> <p>自己目標 4時間目が終わったらすぐ準備し、速く行動するように心がける。 趣味やテレビの事など積極的に会話する。自分のことは後にし、行動を速くする。自分の仕事が終わったら他の人を手伝う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識して頑張っ取り組みたい。 ・よりよい給食を目指して、学級のみならずと協力し、問題点が少しでも改善できるようにしたい。 </div>	準備	セルフサービスの方法にする。当番を忘れている人に呼びかける仕事を手伝う。	時間	4校時終了後すぐ準備をする。	確保	食べる動きを速くする。	会話	給食の献立や授業のことなど楽しい話題を積極的に話す。	残量	嫌いでも意識して残さず食べる。盛りつけの時に少量減らす。	片付け	挨拶後、食べ終わった人からすばやく丁寧に片づける。
準備	セルフサービスの方法にする。当番を忘れている人に呼びかける仕事を手伝う。													
時間	4校時終了後すぐ準備をする。													
確保	食べる動きを速くする。													
会話	給食の献立や授業のことなど楽しい話題を積極的に話す。													
残量	嫌いでも意識して残さず食べる。盛りつけの時に少量減らす。													
片付け	挨拶後、食べ終わった人からすばやく丁寧に片づける。													

1 1 事前・事後の活動の様子

(1) 事前の活動

給食時の実態の把握と残量調査の実施

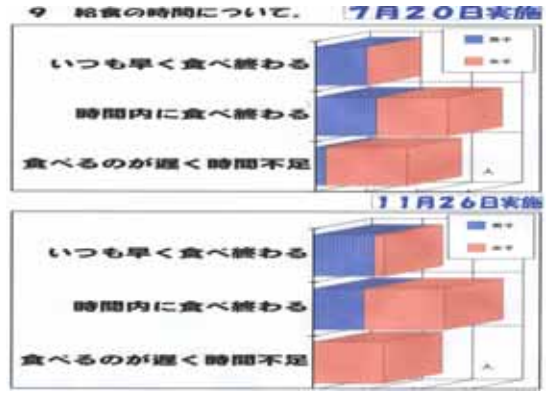
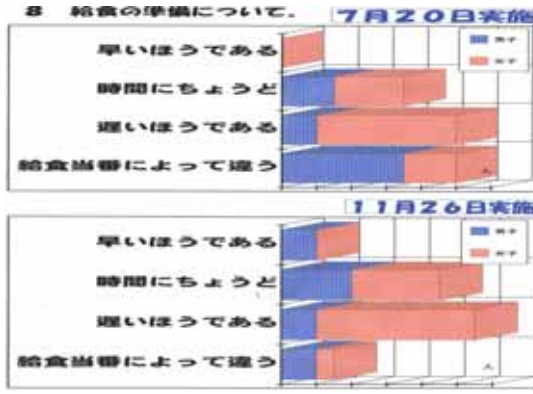
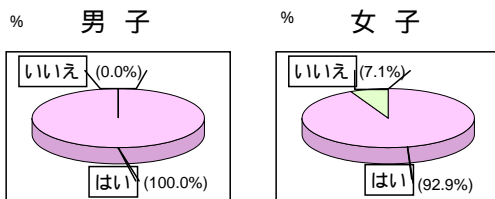
< 会食の様子 >



< 4日間の配膳後と給食終了後の残量の比較 >



アンケート調査による実態把握
給食が楽しみである生徒



(2) 事後の活動

実践カードにより1週間の取組みの反省

張 意欲的な実践を励ました。学級で頑張ってくれた人を賞賛した。

家庭への連携

給食についての話し合いや実践カードでの取組みの様子を家庭に知らせた。食生活について関心を持っていただき、食事（特に朝食）の時間や内容についての協力をお願いした。

2年5組 藤原 君

頑張ってみよう！1週間

自己目標
仕事を忘れて人に呼びかける。
自分の仕事が終わったら他人を手伝う。

評価	自己評価				レーダーチャート
	A: 70~90% 自己目標の達成	B: 50~70% 自己目標の達成	C: 40~50% 自己目標の達成	D: 10~30% 自己目標の達成	
計画	A	A	A	A	
実行	A	A	A	A	
評価	A	A	A	A	
振り返り	A	A	A	A	



1 2 成果とさらなる充実のために

(1) 本時の授業から

学校給食における学級や個人の問題点が明確になり、実践可能な方法を検討することができた。給食の準備の仕方を見直し、よりよい方法が出されるなど有意義な話し合いとなった。

個人では、解決できない問題も学級で声を掛け合い、協力して取り組むことが大切であり、改善のための意識が高まった。

実践カードにより、自己目標を達成するために意欲的に取り組んだ。

定期的に個人や学級での実践の様子を振り返らせ、よりよい方法を検討する。

(2) その後の生徒の様子から

問題点が改善され、準備や後片づけが早くなり、給食の残量が減っている。

『食事のあり方』を見直し、意識するようになった。

学校だけでなく、家庭との連携を取りながら『食と健康』『食を楽しむ』を意識させ、よりよい食習慣の形成が図られるように努める。